

1. 諸会議の開催

(1) 理事会

開催日	名 称	議 題
2020. 5. 18	2020 年度第 1 回理事会 (決議の省略)	1) 第 1 号議案 2019 年度 事業報告、計算書類、 附属明細書、ならびに財産目録の承認 2) 第 2 号議案 2020 年度予算の費用修正について 3) 第 3 号議案 次期評議員候補者推薦について 4) 第 4 号議案 評議員選任・解任委員の選出と委員会 の招集についてについて
2021. 1. 15	2020 年度第 2 回理事会 (決議の省略)	1) 第 1 号議案 評議員候補者推薦について 2) 第 2 号議案 評議員選任・解任委員会の招集について 3) 第 3 号議案 SNS 相談事開始について
2021. 3. 9	2020 年度第 3 回理事会 (決議の省略)	1) 第 1 号議案 来年度予算(案) 2) 第 2 号議案 来年度の事業計画(案)

(2) 評議員会

開催日	名 称	議 題
2020. 6. 8	2020 年度定時評議員会 (決議の省略)	1) 第 1 号議案 2019 年度 事業報告、計算書類、 附属明細書、ならびに財産目録の承認 2) 第 2 号議案 2020 年度予算の費用修正について
2021. 3. 22	2020 年度第 2 回評議員会 (決議の省略)	1) 第 1 号議案 2021 年度予算(案) について 2) 第 2 号議案 2021 年度事業計画(案) について

(3) 監査等

開催日	名 称	備 考
2020. 4. 22	2019 年度 決算監査	監事による決算のための監査
2021. 1. 21	平成 30 年度 共同募金助成事業団体調査 (令和元年度実施事業)	茨城県共同募金会

(4) 評議員選任・解任委員会

開催日	名 称	備 考
2020. 5. 19	第 6 回評議員選任・解任委員会	評議員の選任
2021. 1. 20	第 7 回評議員選任・解任委員会	評議員の選任

2. 実施事業

1) 電話相談員の募集・養成及び研修

- (1) 第36期電話相談員養成講座受講生を募集し、養成講座を開講する予定だったがコロナ感染状況を踏まえて1年間延期とした。
- (2) 第35期電話相談員養成講座受講生は養成2年目の研修を修了予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大により養成講座が一時休止したため、認定は2021年7月に延期となった。
- (3) 継続研修としてグループ研修(8回)・全体研修(2回)を行う予定だったが、コロナ感染予防のため、6月まで休止し、7月よりオンラインを取り入れて再開始した。
- (4) 電話相談員認定3年目・5年目の節目の研修を実施した。希望スーパービジョン・アドバンス研修等はコロナ感染防止のため中止とした。
- (5) 研修スタッフの研修をオンラインを用いて継続的に実施した。
- (6) SNS相談開始にむけて、相談員養成研修を東京メンタルヘルススクエアに委託し実施した。
- (7) 全国研修会・各種研修会などは中止となったが、オンラインの研修などには積極的に参加した。
- (8) 自殺予防対策と相談員募集周知のため、一般に向けて無料公開講座をオンラインで開催した。
2020年8月22日(土)「子供のサポートについて考えるートトロの物語を手かかりにー」
講師：半田一郎氏(カウンセリಂಗルーム「リソースポート」、臨床心理士、研修委員)

2) 調査・研究活動

- (1) 2020年(1~12月)の統計資料を作成し、電話相談受信状況の把握と分析を行った。

電話相談受信状況 (2020年1月~12月フリーダイヤル含まず)

- ・相談件数 13,325件 男性6,688件・50.2% 女性6,637件・49.8%
- ・相談時間数 341,543分 男性123,111分・36% 女性218,432分・64%
- ・平均相談時間数 25分(男性18分 女性32分)

●年代別(男女別) 相談件数

	10代以下	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	不明
男	581	656	1240	1651	1208	739	265	348
女	50	327	900	1621	1949	1397	205	188

●内容別(男女別) 相談件数(単位:件)

	人生	・思想 人権	職業	経済	家族	夫婦	教育	対人	男女	身体	精神	情報	その他
男	1350	43	350	109	753	280	27	479	418	494	1108	38	1239
女	1584	34	321	87	941	631	26	846	238	455	1217	56	201

- (2) 統計資料を基に自殺傾向および問題性のある電話等を調査して、相談員に情報提供した。

自殺傾向の受信状況

- ・件数 1,065件(総受信件数の8%)
男性388件(36.4%) 女性677件(63.6%)
- ・年代別では40代(26.2%)、50代(26.2%)、30代(20.0%)の順に多い。
- ・30代~50代女性の自殺傾向が多い。
- ・相談内容では「人生」(31.9%)「精神」(29.9%)

●年代別(男女別) 相談件数(単位:件)

	10代以下	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	不明

男	16	14	62	116	110	47	15	8
女	6	62	151	163	169	101	11	14

●内容別（男女別）相談件数（単位：件）

	人生	・思想 人権	職業	経済	家族	夫婦	教育	対人	男女	身体	精神	情報	その他
男	142	9	24	16	26	16	3	20	7	15	106	0	4
女	198	1	21	7	73	46	1	52	16	44	212	0	6

●自殺傾向相談件数の推移（最近5年間）（単位：件）

	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
男	991	821	810	562	388
女	1252	1174	1034	1026	677
%	11.0	9.3	9.4	8.6	8.0

(3) フリーダイヤル「自殺予防いのちの電話」受信状況

- 1) 「日本いのちの電話連盟」加盟の全国50センターが、毎月10日に、厚生労働省の自殺防止事業の一環として、フリーダイヤル「自殺予防いのちの電話」を実施。「茨城いのちの電話」も、通常の「いのちの電話」と併行して実施。（2001年～2006年までは毎年12/1～12/7、2007年～2020年は毎月10日実施）

フリーダイヤル2020年度受信傾向

- ・つくば・水戸で延べ101名の相談員が交代で482件の相談に応じた。
- ・自殺傾向の電話は、92件で全体の約19.1%だった。
- ・54.4%が男性からの電話。年代別では50代、40代の順で多く内容別では「人生」(29.0%)「精神」(17.0%)が大きな割合を占めた。
- ・全国どこからかけても空いているセンターにつながる受信システムのため、県外からの電話も多いと思われる。

●フリーダイヤル相談件数（茨城）

	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
男	525	477	565	575	497	411	400	339	262
女	356	371	396	421	356	307	274	279	220

2) 毎日フリーダイヤル

2020年7月から隔日で開催（時間にあつては主に16時00分から21時00分）

7月から12月までの相談状況

- ・相談件数 1288件（男性594件(46.1%),女性694件(53.9%)）
- ・相談時間 581時間53分（平均分数27分）（男性平均24分、女性平均29分）
- ・年代別では、50代が多く、40代、30代の順が多い
- ・相談内容別では、人生、精神が多い

【自殺傾向受信状況】

- ・件数 429件（男性192件(44.8%),女性237件(55.2%)）

- ・相談時間 234時間4分（男性94時間11分、女性139時間53分）
- ・年代別では50代が多く、40代、30代と続く。
- ・相談内容別では人生,精神の割合が多い

(4)セミナー“みなわ”の開催はコロナ感染防止のため中止した。

3) 広報活動

- (1) 機関紙（年2回・一部カラー版）及び事業報告書を発行した。
- (2) マスコミや县市町村の広報部門へ情報を提供した。
- (3) 広報活動充実のためホームページの更改を行った。
- (4) 茨城いのちの電話・フリーダイヤル・相談員募集などポスターやパンフレットを活用した。
- (5) 新聞社の取材を受け相談員募集の記事を掲載した。
- (6) 茨城県内の福祉ボランティア関係のウェブサイトに養成講座生募集や公開講座の記事を掲載した。
- (7) 市町村、学校、病院など約260団体に機関紙、養成講座生募集要項を配布した。
- (8) Facebook・Twitterを立ち上げ、広報活動を行なった。

3. 電話相談員の交流・親睦

- 1) 電話相談員の情報交換等のために、グループ連絡会を奇数月の第1土曜日に開催予定だったが、コロナ感染防止のため、2020年3月5月7月を中止した。
- 2) 内部連絡紙を毎月1回発行した。
- 3) 地区別集會およびリフレッシュ企画は、コロナ感染防止のため中止とした。
- 4) 相談員を相互にサポートする「ほっとスタッフ」活動をコロナ感染防止のため4月～7月・9月10月・12月～3月中止。

4. 財政基盤の確立

- 1) 財政の安定を図るために、後援会員の拡大をはかり、広く寄附金を募った。
- 2) 内部バザーを開催した。卓話活動は一時中止となっていたが、10月より再開し、協力を求めた。
- 3) 手づくり会・常設バザー・アルミ缶回収・募金箱の設置等を積極的に行なった。
- 4) 寄付金機能付き自動販売機システムを導入し、各企業の協力を得て同型機の設置を積極的に推進して寄付金を得た。

5. その他

- 1) 茨城県自殺対策連絡協議会に参加した。(12/23)
- 2) 自殺予防学会オンライン講座に参加した。「自殺の現状とこれからの自殺対策」(9/13)
- 3) 日本電話相談学会第33回大会（オンライン）に参加した。(12/12)
「SNSカウンセリングの現状と可能性～音声通話・テキストによる心理相談～」講師：杉原保史氏
- 4) 茨城県精神保健福祉センターオンラインセミナーに参加した。(3/25)
「電話相談の基礎的対応に関する講義および演習」講師：西村由紀氏
- 5) 新規電話相談事業「SNS相談事業」を開始するために必要なPCなどの設備環境を準備した（「いばらきテーマ型募金」）。費用捻出のため、クラウドファンディングを立ち上げた。(3/16～5/30)